

科目名	病虫害防除概論			開講時期	1年生 後期		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	15 時間		
担当者名	企画戦略部、農業技術研究室、環境技術研究室			単位数	1 単位		
科目の概要	(1)病虫害等の発生要因と防除対策に関する学修 (2)環境に配慮した総合的病虫害管理に関する学修 (3)農薬の適正使用に関する学習						
身に付ける力	(1)病虫害等の防除対策に関する基礎知識 (2)農薬の適正な使用方法						
到達目標	(1)病虫害等による被害を最小限に抑えるための防除対策を講じることができる (2)農薬を適正に使用することができる						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	病虫害防除の基礎			2	鍛治原 寛	
	2	病害の発病条件と防除法			2	吉岡 陸人、小田 裕太	
	3	害虫の生態と防除法			2	岩本 哲弥、本田 善之	
	4	雑草の防除法			2	池尻 明彦、原田 凌	
	5	病虫害の診断法			2	吉岡 陸人、小田 裕太	
	6	農薬の基礎知識と適正使用			2	東浦 祥光	
	7	総合的病虫害管理技術について			2	東浦 祥光	
	8	筆記試験			1	鍛治原 寛	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査	知・技、思・判・表	80	実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	植物生理・育種			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	30 時間	
担当者名	佐々木万紀子、農業技術研修室、企画戦略部、花き振興センター、柑きつ振興センター			単位数	2 単位	
科目の概要	(1)植物の特性、環境要因、栄養等の生理的機能に係る基礎知識および生理生態を活用した栽培管理技術に関する学修 (2)植物の繁殖方法や育種・品種開発に係る基礎的知識および山口県オリジナル品種の育成に関する学習					
身に付ける力	(1)実際の栽培管理に活用するための植物生理の基礎知識 (2)作物の育種に関する基礎的知識					
到達目標	(1)植物の生理的機能や栽培管理技術がどのように植物に影響するか理解する (2)作物の育種に関する基礎的知識及び山口オリジナル品種の育種を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師
	1	植物の構造、水と溶質の輸送			2	佐々木万紀子
	2	発生と分化、被子植物の生殖			2	佐々木万紀子
	3	種子の休眠と発芽、環境要因と植物の反応			2	佐々木万紀子
	4	植物ホルモン、物質代謝			2	佐々木万紀子
	5	呼吸と光合成のしくみ、光合成のタイプと環境要因			2	佐々木万紀子
	6	窒素同化のしくみ			1	佐々木万紀子
	7	植物バイオテクノロジーの基礎			2	松井 香織、佐々木万紀子、藤井 宏栄
	8	植物の繁殖方法と遺伝子のはたらき			2	松井 香織、佐々木万紀子、藤井 宏栄
	9	植物組織培養の基礎			4	松井 香織、佐々木万紀子、藤井 宏栄
	10	品種登録制度の概要			2	内山 亜希、佐々木万紀子
	11	植物バイオテクノロジーの実習			4	藤井 宏栄、佐々木万紀子
	12	県オリジナル品種の育成			4	藤井 宏栄、佐々木万紀子、渡辺 大輔、藤田 淳史、福光 優子、西尾 真智
	13	定期試験			1	佐々木万紀子
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態度	10	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	スマート農業機械論			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	先端技術への対応力			時間数	15 時間		
担当者名	河本 一慶			単位数	1 単位		
科目の概要	(1)ロボット、AI、IoT等の先端技術に関する学修 (2)技術の導入による経営への効果に関する学修 (3)スマート農業における環境整備に関する学修						
身に付ける力	スマート農業に関する基礎知識						
到達目標	(1)ロボット、AI、IoT等の先端技術の基礎的な知識を習得する。 (2)技術の導入による経営の基礎的な知識を習得する。 (3)スマート農業における環境整備の基礎を習得する。						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	スマート農業とは			2	河本 一慶	
	2	ロボット・AI・IoT活用事例について			2	河本 一慶	
	3	スマート農業の実証事例について			2	河本 一慶	
	4	農業データ連携基盤について			2	河本 一慶	
	5	農業におけるデータ活用について			2	河本 一慶	
	6	農業用ドローン、農業支援サービス等について			2	河本 一慶	
	7	スマート農業の環境整備について			2	河本 一慶	
	8	定期試験			1	河本 一慶	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト			
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	10	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	栽培各論			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	講義		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	60 時間		
担当者名	河本 一慶、稲葉 俊二			単位数	4 単位		
科目の概要	(1)水稲の生理生態と栽培管理に関する学修 (2)大豆、麦の生理生態と栽培管理に関する学修 (3)露地野菜の生理生態と栽培管理に関する学修						
身に付ける力	土地利用型作物の生理生態や栽培管理に関する基礎知識・技術						
到達目標	(1)水稲の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する。 (2)大豆、麦の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する (3)露地野菜の生理生態と栽培管理の基礎的知識・技術を習得する。						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	水稲の生理生態と栽培管理			16	河本 一慶、稲葉 俊二	
	2	大豆の生理生態と栽培管理			14	河本 一慶、稲葉 俊二	
	3	麦の生理生態と栽培管理			14	河本 一慶、稲葉 俊二	
	4	露地野菜の生理生態と栽培管理			14	河本 一慶、稲葉 俊二	
	5	定期考査			2	河本 一慶、稲葉 俊二	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査	知・技、思・判・表	60	実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	40	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	専攻栽培演習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態	演習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	100	時間	
担当者名	河本 一慶、稲葉 俊二			単位数	5	単位	
科目の概要	水稲、麦、大豆、露地野菜の生産に必要な作付け計画、ほ場管理、栽培技術、乾燥調製の学修						
身に付ける力	水稲、麦、大豆、露地野菜の栽培管理や出荷調整に関する基礎知識・技術						
到達目標	水稲、麦、大豆、露地野菜の生産に必要な基礎知識・技術の習得						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	栽培計画の作成			2	河本 一慶、稲葉 俊二	
	2	土壌分析と施肥設計			2	河本 一慶、稲葉 俊二	
	3	ほ場準備(土づくり、入排水路の整備、ほ場排水対策)			30	河本 一慶、稲葉 俊二	
	4	作物の栽培管理と乾燥調整、保管			56	河本 一慶、稲葉 俊二	
	5	栽培実績の作成			10	河本 一慶、稲葉 俊二	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査			実技テスト			
	レポート			発表・成果物			
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	先進法人演習			開講時期	1年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力			時間数	20	時間
担当者名	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二			単位数	1	単位
科目の概要	大規模経営を行う法人において、大区画ほ場での作業実習、経営内容の学修を行う					
身に付ける力	大規模経営における作物生産・経営の技術・知識					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大区画ほ場での作物生産の体験・技術習得</li> <li>・大規模法人における作業実施方法・経営内容の把握</li> </ul>					
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師
	1	大区画ほ場での作業(田植等)			16	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二
	2	大規模経営体の経営状況の把握			4	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習			開講時期	1年生 通年		
				授業の形態			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	750 時間		
担当者名	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二			単位数	25 単位		
科目の概要	作物の生理生態や栽培技術、販売手法に関する学習						
身に付ける力	(1)作物の栽培管理や乾燥調整に関する基礎知識・技術 (2)生産における課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法						
到達目標	(1)作物栽培の基礎的な栽培技術の習得 (2)プロジェクト課題の設定から調査、成果の取りまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を養う						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	生産プロジェクトの課題設定			4	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二	
	2	生産プロジェクトの栽培計画作成			4	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二	
	3	生産プロジェクトの実施			718	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二	
	4	中間検討			4	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二	
	5	生産プロジェクト報告書作成			20	森岡 徹文、河本 一慶、稲葉 俊二	
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
テキスト・副教材							
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査			実技テスト			
	レポート			発表・成果物	知・技、思・判・表	10	
	授業・実習態度	思・判・表、態度	90	研修評価			

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	農家体験研修			開講時期	1年生5月～6月		
				授業の形態	実習		
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	30 時間		
担当者名	土地利用G担当、教務課			単位数	1 単位		
科目の概要	先進農家・農業法人での1週間の農業体験研修						
身に付ける力	農大での学修及び就農意欲の向上						
到達目標	生産現場や農家生活、農業法人の実態の体験・理解						
授業計画	回	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農家体験研修(5日間)			30		
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合	
	定期考査			実技テスト			
	レポート(研修報告)	思・判・理	50	発表・成果物	知・技	50	
	授業・実習態度			研修評価		0	

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度